

英語の本を深く理解するための ファシリテーション・ グラフィクス講座

講師：
稲村理紗
(まちづくりファシリテーター)

主催：
鶴見大学文学部
英語英米文学科

本講座は、平成29年度鶴見大学学長裁量経費(代表:深谷素子)助成を受けています。

日時:2018年2月5日(月)
13時~16時

会場:鶴見大学図書館2階
学修支援スペース

参加費無料

本学学生・教職員、一般参加可



参加希望者はメールにて、下記連絡先まで
お申し込みください。

問い合わせ先: 鶴見大学文学部英語英米文学科
草薙優加 <kusanagi-y★tsurumi-u.ac.jp> 045-580-8186
深谷素子 <fukaya-m★tsurumi-u.ac.jp> 045-580-8185
★印を@に変更ください。

「英語の本を深く理解するためのファシリテーション・グラフィックス講座」では何をするのですか？

- ファシリテーション・グラフィックスは、キーワード、記号、イラストを用いて話し合いの内容を紙上に視覚化する方法です。話し合いのやりとりをみえる形に示すことで、各メンバーが何を考えているのか、全員が大切に考えていることは何か、独創的な考えを見落とししていないかなど、全員が客観的に確認することができます。また、ある意見から新しい意見やアイデアが生まれる効果があります。このようにファシリテーション・グラフィックスは話し合い参加者同士の考えを共有し、議論の確認や深化に役立ちます。この過程では参加者同志が気軽に話すことができるため、初めて会った人同士でもすぐに良い関係性をつくることができます。
- 今回「英語の本を深く理解するためのファシリテーション・グラフィックス講座」では、この手法の実践と指導に豊かな経験を有する稲村理紗氏をお招きし、ファシリテーション・グラフィックスを使って、英語の絵本を題材に、本に描かれている世界を仲間とともに探求します。本講座では、ファシリテーション・グラフィックスの入門を学び、本について話し合いを行いますので、ファシリテーション・グラフィックスの知識や経験は不要です。参加前に課題本を読んでおく必要がありますので、事前に申し込みをしてください。
- 近年、さまざまな話し合いの場で注目を浴びているこの手法をつかった読書ワークショップを経験できる場はなかなかありません。奮ってご参加ください。